

人と自然にやさしい下水道事業について 渡邊一夫氏 × 渡辺洋氏

元県土木部長

元技監兼土木事務所長 (当時・県土木部都市局下水道課長)



いばらきの公共事業を紐解く

普及率の向上へ傾注

特に力を入れたのは、下水道接続率の向上です。一般的に、下水道整備の目安

私は平成18年4月から2年間、土木部都市局下水道課長として下水道の整備普及促進に携わりました。初めて下水道事業に携わりましたが、部下にも恵まれ無事に務めることができました。

下水道は重要インフラ

県の下水道は昭和44年、鹿島臨海工業地帯に立地するたぐさんの企業、工場からの汚れた水を処理する特



茨城の公共・公益事業 歴史をたどり、後世に残す 県土木部総括技監・部長編③



接続率問題 自己負担軽減に補助金制度創立

▲深芝処理場では、工場排水や神栖の公共下水道を一括処理している

生活排水の処理は、下水道事業の他に農業集排水

平成18年当時、本県の下水道普及率は51.7%、接続率は36.7%でした。接続率

最終的に知事裁定を持ち込まれ、そこでも3万円と1万円が双方譲らなかつた

家の前にも希望の下水道が通り、県、町合わせて4万円の恩恵に預かりました。

私が土木部長の時は、生活や企業活動に支障をきたさない重要なインフラなので

深芝処理場に風力発電をやることを検討し、検討を始めたのもこの頃です。

深芝処理場は風力発電の適地であり、再生エネルギーとして

公共下水道の事業主体である市町村が、1戸あたり2万円を出して頂くこと

を前提に、県が2万円上乗せを出して頂くことになりました。

この制度は、その後色々と改善され、今でも続いていると聞いております。

みなで頑張った甲斐があったな、嬉しく思っております。

この制度は、その後色々と改善され、今でも続いていると聞いております。



▲深芝処理場内にある、風力発電設備

渡辺洋 (わたなべ ひろみ) 1950年1月6日生まれ。74歳。75年入庁、土木部都市計画課に配属。その後、都市整備課

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

私が課長として赴任したのが、平成18年4月です。この時、土木部都市局下水道課長として赴任した

災害復旧支援機を派遣 万能吸引車『IC75MV』

加藤製作所/被災地復旧に活用



広範囲な泥土など吸引可能

援機として現地で活用される。不整地万能吸引車『IC75MV』は、広範囲に吸引可能であり、インフラ再整備における工事など幅広い用途で使用される。足回りはクローラ式で、通行が困難な道路や不整地での走行に適している。

被災地支援を継続して行っていく決意を示した。同会は1月18日に開催した「新年の集い」にて募金箱を設置し、出席者に支援を呼び掛けた。その際に集まった募金と同会の寄付金を加え、計20万円とした。当日は石井理事長のほか川野副理事長、野上正副理事長らが日本赤十字社茨城県本部に赴き、目録を贈呈した。

被災地に義援金20万

一刻も早い復旧復興祈る 県森林・林業協会



▲石井理事長(中央右)が目録を手渡した

被災地支援を継続して行っていく決意を示した。同会は1月18日に開催した「新年の集い」にて募金箱を設置し、出席者に支援を呼び掛けた。その際に集まった募金と同会の寄付金を加え、計20万円とした。当日は石井理事長のほか川野副理事長、野上正副理事長らが日本赤十字社茨城県本部に赴き、目録を贈呈した。

高秋・秋山中の体育館空調設置

《高秋市》

高秋市は、高秋中学校と秋山中学校の体育館に空調設備を整備する。現在、空調設備が老朽化しており、夏場になると熱くなる。空調設備を整備することで、快適な環境を整え、児童生徒の学習意欲を高めたいと考えている。